



パラリンピック選手交流会



今日は、パラリンピックの選手3人が来てくださり、子どもたちとの交流会を持ちました。彼らは、子どもの時に、交通事故にあい下半身麻痺や、両足あるいは片足を失った人たちです。自分の苦い経験を屈託なく子どもたちに語ってくれました。実際に交通事故にあったのは、小さい時で、自分たちは、それを乗り越えたサクセスストーリー的な感じでは

はなく、自分の好きなものに打ち込んでいた結果が、今の自分たちの姿であると言っている様に思えました。子どもたちには、大変わかりやすく優しく楽しく語りかけて頂き、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。小学1年生から中学3年生まで、それぞれの年齢に応じて、感じ方も違うと思いますが、彼らの話は、間違いなく子どもたちの心の中に深く刻み込まれたことと思います。保護者の方々も多く来られて、大人の立場からも、彼らの活躍に刺激を受け、勉強になった時間だったと思います。彼らを見ていると「障害」というものをマイナスとは捉えず、逆にそれを自分たちのプラスの力に変えているというように思いました。きっとここまで辿り着くためには、大変な努力が隠されていることも忘れてはならないと感じました。最後に、子どもたちは、金メダルに触らせてもらい「わ～重い!」「これ本物?」と歓声を上げていました。保護者の方々からは「これ全部、金でできているの?」の質問が多かったです。

彼らの今後の最大の目標は4年後の北京パラリンピックだそうです。これに向けて挑戦し続けるとのこと、皆んなで応援していきたいと思っています。改めて3人の選手に拍手です!有難うございました。

子どもたち、車に注意!飛び出し厳禁!
保護者皆様、慎重運転です!



三澤 拓 (みさわ ひらく)

長野県松本市出身。6歳のとき交通事故により左足太ももより下を失う。

8歳よりスキーを始める。水泳や野球など天性の運動神経の持ち主。中学3年生から全日本障害者アルペンスキーチームに入り世界の大会に出場し始める。

15歳でニュージーランド、メスベンにあるマウントハットカレッジに3年間留学。平昌パラリンピックで4大会目の出場。

狩野 亮 (かのう あきら)

北海道網走市出身。小学校3年生のとき登校中の自動車事故で脊髄を損傷、その後さまざまなスポーツを経験し、中学1年生のときスキーを始める。福祉システム工学科で学び、現在はマルハンに所属している。冬季パラリンピックのアルペンスキー競技に2006年のトリノパラリンピックより4大会連続出場。2010年のバンクーバーパラリンピックでは男子座位スーパー大回転で金メダル、男子座位滑降で銅メダルを獲得した。このバンクーバー大会の功績により、2010年6月10日、北海道栄誉賞を受賞した。2014年3月8日、ソチパラリンピックのアルペンスキー男子滑降において、金メダルを獲得、日本人選手の金メダル第一号となった。2014年春の紫綬褒章受章

鈴木 猛史 (すずき たけし)

福島県出身。交通事故により両大腿切断。9歳でチェアスキーを始める。

2011年駿河台大学卒業後、職員として現役続行する。

冬季パラリンピックのアルペンスキー競技に2006年のトリノパラリンピックより3大会連続出場。2010年のバンクーバーパラリンピックでは男子座位大回転で銅メダルを獲得。彩の国功労賞を受賞。2014年3月8日、ソチパラリンピックのアルペンスキー男子滑降において3位となり、銅メダルを獲得した。

2014年3月13日、同じくソチパラリンピックのアルペンスキー男子回転(スキー)において3位となり、金メダルを獲得した。金メダルをとった17年前の3月13日は、交通事故に遭った日でもあり、事故の悲劇に金メダルの喜びに変えたという不思議な縁を感じさせた。

2014年春の叙勲で紫綬褒章受章。

https://www.youtube.com/watch?v=T4Xbt6Y8gwg&index=2&list=PLziXyqUNslvqP_UzfU0v0c4QfRkQekZJa&t=21s

カンタベリー補習校みんなで応援しています！頑張ってください！

保護者の皆様をお願い

学校説明会の折にもお願いしましたが、再度のお願いです。土曜日の補習校開講日は保護者の皆様にとっても、大事な交流の場だと承知致しております。ただ保護者の方々が話に夢中になるあまり、お子さまの存在を忘れて話に没頭されてしまう方も時々見受けられます。お子さまから目を離さないようお願いいたします。先週も、暗くなってから低学年の子どもが「お母さんがいない」とポツンと一人でいました。必ず保護者の目の届く範囲にお子さまがいることを確認願います。また授業中に、子どもを遊ばせる時には、時間帯や場所にも気を配って頂くようお願いいたします。